

# 15

# 教育課程表

## 教育課程表の見方

2010年度のカリキュラム改正に伴い、一部の授業科目が新しいカリキュラムの授業科目に変更されました。履修登録に当たっては、以下の記載事項及び教育課程表をよく確認して、**誤って履修できない授業科目を選ぶことのないよう十分注意してください。**

### 1 名称等が変更された授業科目の表記方法・履修方法について

名称等が変更された授業科目の表記方法・履修方法は次のとおりです。

授業科目区分	授業科目名称・配当年次等 <small>(●は必修、(留)は外国人留学生選択科目、( )の数字は単位数)</small>				卒業要件 単位数 (最低)
	1年次	2年次	3年次	4年次	
B1 経済と社会	法 学【法とは何か】(2) 社会と生活【社会とは何か】(2) 政治のしくみ【政治のしくみと働き】(2)	日本の歴史(2) 社会思想史(2) 歴史からみた現代の社会(2)	日本国憲法(2) 日本と国際経済(2) 日本経済(留)(2)	経済のしくみ(2) 政治とリーダーシップ(2) 日本企業論(留)(2)	4
	社会生活と倫理【善とはなにか】(2) 文学の世界【文学】(2) 美とは何か【美しいとは何か】(2)	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) 日本文化(留)(2)	人類と文化(2) 異文化コミュニケーション論(2)	記号と論理(2) 日本近現代史(留)(2)	
B 課題 B2 文化とコミュニケーション	フランス語とフランス文化A【フランス語とフランス文化1】(2) ドイツ語とドイツ文化A【ドイツ語とドイツ文化1】(2) スペイン語とスペイン文化A【スペイン語とスペイン文化1】(2) 韓国語と韓国文化A【韓国語と韓国文化1】(2) 中国語と中国文化A【中国語と中国文化1】(2)	フランス語とフランス文化B【フランス語とフランス文化II】(2) ドイツ語とドイツ文化B【ドイツ語とドイツ文化II】(2) スペイン語とスペイン文化B【スペイン語とスペイン文化II】(2) 韓国語と韓国文化B【韓国語と韓国文化II】(2) 中国語と中国文化B【中国語と中国文化II】(2)			4

### 重要

表記方法	履修方法
<p><b>新授業科目名称【旧授業科目名称】(単位数)</b></p> <p>※名称が変更された科目については、新授業科目と【旧授業科目】が前後に記載されています。</p>	<p>新授業科目を履修してください。</p> <p><b>注意</b> 【 】の旧授業科目を既に修得している場合は、新授業科目は履修できません。</p>
<p>(例) <b>社会と生活</b> 【社会とは何か】(2)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>新授業科目名称    【旧授業科目名称】</p>	<p>(左の例の場合)</p> <p>これまでに【社会とは何か(2)】を修得している場合は、「社会と生活(2)」は履修できません。</p>

**注意** 『授業時間割』や『講義概要』には新授業科目名称等が記載されます。

### 2 成績表等への表記について

- 名称変更前の授業科目の単位を修得した場合、成績表及び成績証明書には、変更前の授業科目名称【旧授業科目名称】が記載されます。
- 名称変更後の授業科目の単位を修得した場合、成績表及び成績証明書には、変更後の授業科目名称【新授業科目名称】が記載されます。

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)		
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次			
A プリ オラ グ ラ ム 教 育	A1 ヒューマン ディ ベ ロ プ メ ン ト	●パーソナルディベロップメントプログラムⅠ(1) ●パーソナルディベロップメントプログラムⅡ(1) ●ソーシャルディベロップメントプログラムⅠ(2)	●パーソナルディベロップメントプログラムⅢ(1) ●ソーシャルディベロップメントプログラムⅡ(1)			6	14	
	A2 情報リテラシー	●情報処理入門(2)				2		
	A3 外国語コ ミュ ニ ケー シ ョ ン	●英語Ⅰ-a(1) 実践日本語Ⅰ(留)(1) ●英語Ⅰ-b(1) 実践日本語Ⅱ(留)(1) ●英語Ⅱ-a(1) 実践日本語Ⅲ(留)(1) ●英語Ⅱ-b(1) 実践日本語Ⅳ(留)(1)	●英語Ⅲ-a(1) 実践日本語Ⅴ(留)(1) ●英語Ⅲ-b(1) 実践日本語Ⅵ(留)(1)			6		
B 課 題 探 究 プ ロ グ ラ ム	B1 経済と社会	法 学【法とは何か】(2) 社会と生活【社会とは何か】(2) 政治のしくみ【政治のしくみと働き】(2)	日 本 の 歴 史(2) 社 会 思 想 史(2) 歴史からみた現代の社会(2)	日 本 国 憲 法(2) 日 本 と 国 際 経 済(2) 日 本 経 済(留)(2)	経 済 の し く み(2) 政 治 と リーダーシップ(2) 日 本 企 業 論(留)(2)	4	24	
	B2 文化とコ ミュ ニ ケー シ ョ ン	社会生活と倫理【善とはなにか】(2) 文学の世界【文学】(2) 美とは何か【美しいとは何か】(2)	人 間 存 在 の 課 題(2) コミュニケーション論(2) 日 本 文 化(留)(2)	人 類 と 文 化(2) 異文化コミュニケーション論(2)	記 号 と 論 理(2) 日 本 近 現 代 史(留)(2)	4		
	B3 ひとと環境	フランス語とフランス文化A【フランス語とフランス文化Ⅰ】(2) ドイツ語とドイツ文化A【ドイツ語とドイツ文化Ⅰ】(2) スペイン語とスペイン文化A【スペイン語とスペイン文化Ⅰ】(2) 韓国語と韓国文化A【韓国語と韓国文化Ⅰ】(2) 中国語と中国文化A【中国語と中国文化Ⅰ】(2)	フ ラ ン ス 語 と フ ラ ン ス 文 化 Ⅲ(2) ド イ ツ 語 と ド イ ツ 文 化 Ⅲ(2) 韓 国 語 と 韓 国 文 化 Ⅲ(2)	ド イ ツ 語 と ド イ ツ 文 化 Ⅱ(2) ス ペ イ ン 語 と ス ペ イ ン 文 化 Ⅱ(2) 中 国 語 と 中 国 文 化 Ⅱ(2)	フ ラ ン ス 語 と フ ラ ン ス 文 化 B【フランス語とフランス文化Ⅱ】(2) ドイツ語とドイツ文化B【ドイツ語とドイツ文化Ⅱ】(2) スペイン語とスペイン文化B【スペイン語とスペイン文化Ⅱ】(2) 韓国語と韓国文化B【韓国語と韓国文化Ⅱ】(2) 中国語と中国文化B【中国語と中国文化Ⅱ】(2)			4
	B4 自然と科学	生命と遺伝子【生命のなりたち】(2) 身近な化学【宇宙とヒトの化学】(2)	データーのまとめ方(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2)	数 理 の 世 界(2) 科 学 技 術 と 社 会(2) 数 学 的 思 考 法(2)	遺 伝 子 と 進 化(2) 生 命 と 科 学 の 進 歩(2) 科 学 技 術 論(留)(2)			4
	B5 ケーススタディ	総合基礎(2) ゼミナールⅠ(2) ゼミナールⅡ(2)						
C 専 門 主 専 攻 コ ー ス プ ロ グ ラ ム	必修科目	●不動産学基礎演習(4) ●財産法の基礎(2) ●物権法(2) ●都市と建築の基本法(2) ●不動産のためのミクロ経済学(4) ●都市計画の基礎(2) ●建築一般構造論(2) ●不動産のための数学と統計(4)		●不動産金融論(4)		30	124	
	学科共通	担保物権法(2) 借地借家法・区分所有法(2) 不動産のためのマクロ経済学(2) 会計学の基礎(2) 都市計画(2) 不動産流通の制度と市場(2) 地籍と不動産登記(2)	債権法(4) 土地開発と法(2) 土地と住宅の経済学(2) 経営分析(2) 不動産政策史(2) 測量と地図(2) 不動産情報処理演習(2)			20		
	コース科目	環境と経済(2) 都市の経済学(2) 建築史(2)		不動産ビジネスと法(2) 不動産トラブルと法(2) 環境法(2) 不動産鑑定評価論(4) 不動産ファイナンス演習(4) 不動産経営戦略(2) 不動産数理(2)	家族と財産の法(2) 不動産金融と税の法(2) 不動産のための計量分析(2) 不動産金融分析(4) 法と政策の経済学(2) 不動産経営計画(2)			16
	選択科目	不動産ビジネスゲーム演習(2) ハウジング論(2) デザインの基礎(2) 建築計画Ⅰ(2)		不動産法の最前線(2) まちづくり演習(4) 都市開発と社会基盤(2) 建築CAD演習(2) 建築環境計画(2) 建築構造計画(2) インテリアデザイン演習(2) 建築設備(2) 構造力学Ⅰ(2) 地理情報システム(4)	集合住宅管理論(2) 不動産管理演習(4) 都市環境と防災(2) 建築計画Ⅱ(2) 建築材料学(2) 住宅地計画実習(2) 建築環境デザイン(2) 材料学実験(2) 構造力学Ⅱ(2) 不動産キャリアデザイン(2)			74
実務演習科目	不動産特別講義Ⅰ(2) <単位認定科目> 不動産特別演習Ⅰ(2) 不動産特別演習Ⅱ(2) 不動産特別演習Ⅲ(2) 不動産特別実習(2)							
		不動産実務演習A(2) 不動産実務演習E(2)	不動産実務演習B(2) 不動産実務演習F(2)	不動産実務演習C(2) 不動産実務演習G(2)	不動産実務演習D(2) 不動産実務演習H(2)			

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)
		1年次	2年次	3年次	4年次	
D 副専攻 プログラム	D1 副専攻 プログラム	日本語教育・異文化交流プログラム 中国語文化探究プログラム *プログラムの詳細は「副専攻プログラムの履修」を、他学部・他学科開放科目の詳細は「他学部・他学科開放科目の履修」をそれぞれ参照してください。→P.140	国際ビジネス日本語プログラム 国際経済プログラム	発展英語プログラム マネジメントプログラム	中国現代社会・ビジネスプログラム 他学部・他学科開放科目	2    (124)
	D2 キャリア アップ プログラム	●ビジネス・コンピューティング基礎(2)				
		ビジネス・コンピューティング応用(2) ITプレゼンテーション(2) データベース入門(2)				
		キャリアデザイン(4) [2013年度から]*				
		〈産学連携教育プログラム〉 * 「キャリアアッププログラム (産学連携教育プログラム) の履修」を参照してください。→P.146 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村証券ファイナンスプログラム 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム リクルート・キャリアデザインプログラム [2012年度まで]*				
		〈単位認定科目〉 特別聴講科目A・B・C・D(各2) 異文化実地研修A・B(各2) ビジネススキルA・B・C・D(各2) インターンシップA・B・C・D(各2) ボランティア活動A・B(各2)				
合計卒業要件単位数 (最低)						124

※2013年度のカリキュラム改正に伴い、開設授業科目等が変更となりました。既に「リクルート・キャリアデザインプログラム」(「マイキャリア・ディベロップメント・プログラム(2)」又は「マイキャリアゼミナール(2)」のいずれか)の単位を修得している場合、「キャリアデザイン(4)」の履修はできません。

### 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。  
(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)	履修方法	
A フリテラシー 教育	A1 ヒューマン ディベロップメント	⑥	<b>必修</b> 全5科目6単位修得	
	A2 情報リテラシー	②	<b>必修</b> 「情報処理入門」2単位修得	
	A3 外国語 コミュニケーション	⑥	<b>必修</b> 英語6科目6単位修得 ※外国人留学生：英語(または実践日本語)から6科目6単位修得 (*6単位を超えて修得した単位→「自由選択」へ算入)	
	計	14	-	
B 課題探究 プログラム	B1 経済と社会	4	<b>選択必修</b> B1の分野から4単位修得(*4単位を超えて修得した単位→「その他(B1~B5)」へ算入)	
	B2 文化と コミュニケーション	4	<b>選択必修</b> B2の分野から4単位修得(*4単位を超えて修得した単位→「その他(B1~B5)」へ算入)	
	B3 ひとと環境	4	<b>選択必修</b> B3の分野から4単位修得(*4単位を超えて修得した単位→「その他(B1~B5)」へ算入)	
	B4 自然と科学	4	<b>選択必修</b> B4の分野から4単位修得(*4単位を超えて修得した単位→「その他(B1~B5)」へ算入)	
	B5 ケーススタディー	-	(*修得した単位→「その他(B1~B5)」へ算入)	
	その他(B1~B5)	8	<b>選択必修</b> 上記B1~B4各4単位のほかに、B1~B5の5分野の中から8単位修得	
	計	24	(*24単位を超えて修得した単位→「自由選択」へ算入)	
C 専攻 プログラム コース	必修科目	③⑩	<b>必修</b> 全10科目30単位修得	
	選択必修科目	20	36	<b>選択必修</b> [学科共通] から20単位修得(*20単位を超えて修得した単位→「選択科目」へ算入)
		16		<b>選択必修</b> [コース科目] から16単位修得(*16単位を超えて修得した単位→「選択科目」へ算入)
	選択科目	8	<選択科目> 8単位修得 (*選択必修[学科共通]・[コース科目]の要件単位数を超えて修得した単位を含めることができる)	
	実務演習科目	-	(*修得した単位→「自由選択」へ算入)	
	計	74	(*74単位を超えて修得した単位→「自由選択」へ算入)	
D 副専攻 プログラム	D1 副専攻プログラム	-	(*修得した単位→「自由選択」へ算入)	
	D2 キャリアアップ プログラム	②	<b>必修</b> 「ビジネス・コンピューティング基礎」2単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「自由選択」へ算入)	
	計	2	-	
自由選択	10	A(14単位)、B(24単位)、C(74単位)、D(2単位)の卒業要件単位のほかに、B~D(外国人留学生はA~D)の中から10単位修得		
合計	124	-		